

# ふたしん速報

2002年10月1日  
双葉会診療所 片倉和彦  
0428(83)3454



## 一月一日から窓口で払う老人医療費が変わる人もいます

国民医療費は国民総バチンコ費とほぼ同じ約三兆円。昨年一年間の医療費は一年より減っています。でも、医療費がさらに増大するのを心配した国は、診察をつけた人の負担割合を増やすことに

### 他の医療機関

今まで一回 850 円薬代なし 一割、薬も一割  
病院は上限が 5300 円ではなく、8000 円なり 12000 円を超えると申告して戻ってくる。わかりにくいので相談を

よって、健康保険、国の支出を減らし、受診を我慢させることで医療費も減らそうとしています。ただ、受診を我慢して重症になると、余計に医療費がかかることもあるのですが。  
個人負担を増やし受診を減らすという方法の一つが、一月から始まる老人医療の「二割負担」二六 円上限廃止というものです。  
具体的には、今まで当診療所で、医療費を払い、また薬局で薬代を払っていた人のうち、一カ月一六 円を超えていた人は、いままでの一六 円のかわりに一月一日からは一割そのままを払うこ

とになります。

診察費だと、糖尿病での注射、呼吸不全での在宅酸素療法の器械を使っているひとが、また薬代だと、比較的高い薬を使っていた人がこれに該当します。いままで『一六 円です』とか『今日は負担金はありません』と言われていた人が、一割を払うようになるのです。  
ただ、一カ月のいろいろな医療機関の負担金の合計が八千円や一万二千円、または四万二千円をこえている場合。または世帯の合計が一定の額を超えている場合にはそれを超えている分については申告すれば戻ってくる可能性があります。

### インフルエンザの予防接種始まる

インフルエンザは変わり身のはやいウイルスなので、毎年予防していくことが大切です。

そのためには、昨年まで予防接種をされていた方は1回の、また予防接種が初めてという方には4週間間隔で2回の予防接種をおすすめします。

10月上旬だと早すぎるので、2回の予防接種の方は10月下旬または11月上旬に一回目を行うのがいいと思います。2000円です。

### インフルエンザの特効薬タミフル

クミフルという薬があります。去年は錠剤だけでしたが、このシーズンからは子どももまた錠剤が飲めない人でも、飲むようにドライシロップ化したものも出てきています。ただ、このタミフルは、インフルエンザにかかってから2時間以内に飲まないと効き目がないとのこと。

インフルエンザが普通の風邪と違うのは、突然ガーンという頭痛発熱症状が出てきて、そのあとで、鼻水、咳などが現れてくるところです。

奥多摩町の場合、役場で医療費の合計について気をつけて見ていると思うので、医療費超過分についての申告を忘れても大丈夫かなとも思いますが、もしかしてと思ったら、診療所や役場に問い合わせして下さい。

今回の改革で、老人が二つにわけられました。九月三日までに七歳になっている人は老人保険法での医療ですが、六九歳の人は、七五歳になるまで、一般医療保険一割負担での医療です。今のところ支払額はさほど変わりませんが、今後変わってくるかもしれません。  
医療費説明、算出に必要ですので、新しい老人医療証を窓口に見せて下さい。